

財政状況のあらまし

持続可能な行財政運営の推進

令和5年度下半期 (令和5年10月1日～6年3月31日)

※令和6年3月31日現在

最終予算額 **771億8,210万5千円**
(一般会計および特別会計合計)

市では、皆さんから納めていただいた市税をはじめ、地方譲与税や国・都からの補助金および交付金などの財源がどのように使われているかをお知らせするとともに、市政運営に一層のご理解とご協力をいただくため、毎年2回(上半期、下半期)財政状況を公表しています。

令和5年度予算については、第5次基本構想の将来像「いかそうみどり 増やそう笑顔 つなごう人の輪 小金井市」の実現に向け、ニューノーマル時代の質の改革に取り組み、まちへの誇りと愛着(シビックプライド)を醸成し、選ばれるまちづくりを進める予算とし、市民満足度の一層の向上に取り組んできました。

しかしながら、多額の財政調整基金の取り崩しや前年度繰越金を活用しており、依然として厳しい財政運営となりました。

今後も財政規律を緩めることなく、多様化・高度化する市民ニーズに的確に応えるため、より一層行財政改革を推進していきます。

一般会計

市税を主な財源とし、学校施設の改善や改修、道路の整備、緑地・公園用地の取得、集会施設などの建設や改修、教育や福祉、ごみ処理など市が行う事業の大部分を賄う会計です。(図1)

特別会計および公営企業会計

市には、特定の事業を行うため、一般会計とは別に、国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療の3つの特別会計および下水道事業会計の1つの公営企業会計があります。(表1、表2)

市債

公共施設の建設などを積極的に進めていくうえで必要な財源として、国や都、金融機関などから長期にわたって借り受ける財源を市債といいます。

市債の内訳は図2のとおりです。市民一人当たり、12万7,201円の借金があることになり、これ

を前年同期と比較すると、7.2%の減となります。

市有財産

市が保有している財産には、庁舎や学校などの土地、建物、そのほか、物品や基金など多くの財産があります。(表3)

市有財産の現在高は、996億8,589万4千円となり、前年同期と比較すると1.0%の増となりました。

一時借入金

歳出予算で定められた経費を支出するとき、不足する現金を補てんするため、短期的に借り入れる現金をいい、出納閉鎖日(5月31日)までに返済しなければならないことになっています。

令和5年度下半期は、一時借入金はありません。

◆共通◆

☎財政課財政係 (☎042-387-9802)

図1 一般会計の執行状況

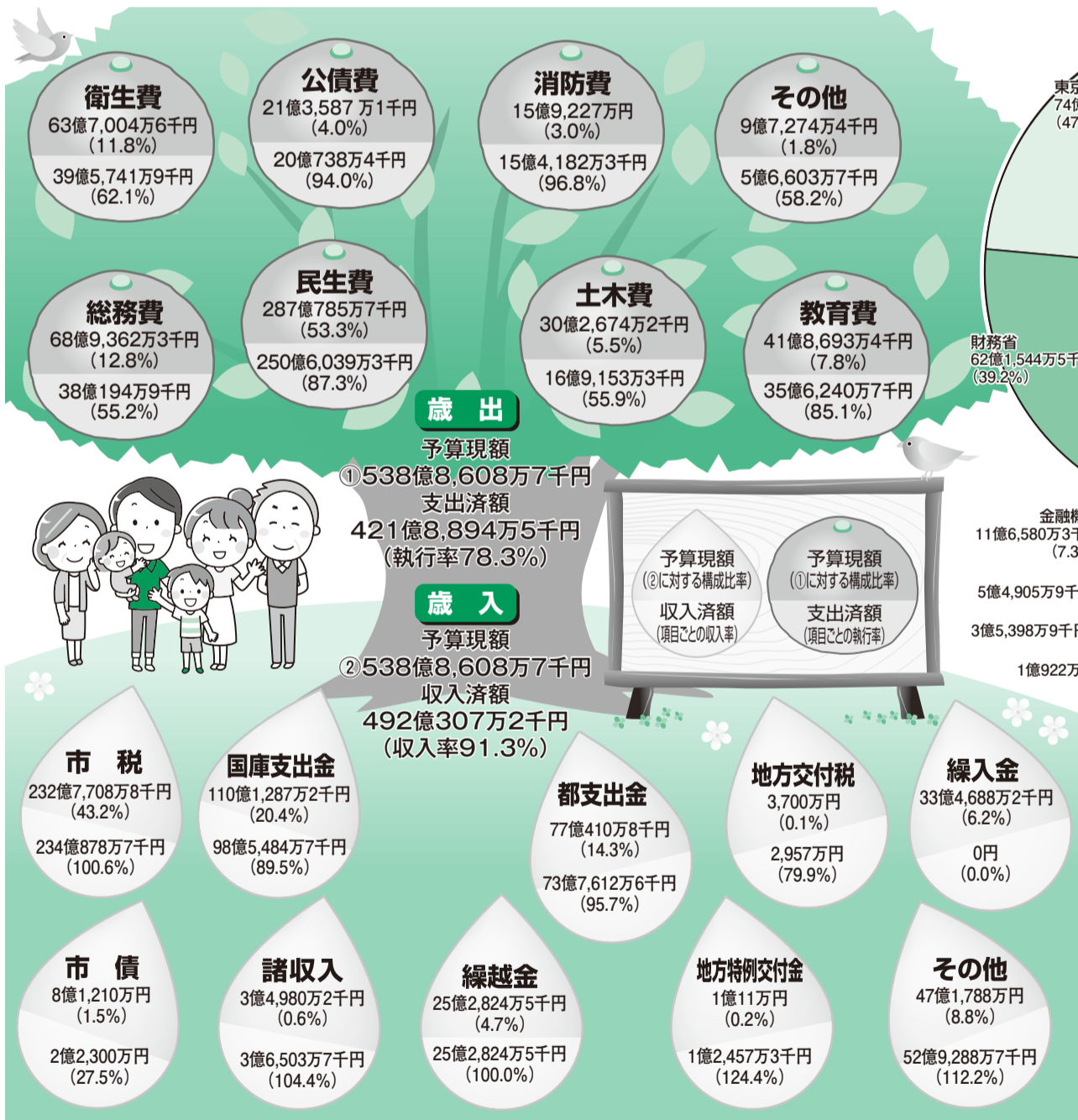


表1 特別会計の執行状況

区分	予算現額	収入済額	収入率	支出済額	執行率	前年同期比(予算現額)
国民健康保険特別会計	111億3,793万4千円	102億3,000万7千円	91.8%	103億80万円	92.5%	3.6%増
介護保険特別会計	90億7,652万9千円	89億218万6千円	98.1%	81億9,145万7千円	90.2%	1.8%増
後期高齢者医療特別会計	30億8,155万5千円	30億7,394万円	99.8%	30億2,212万2千円	98.1%	3.7%増

図2 市債の内訳

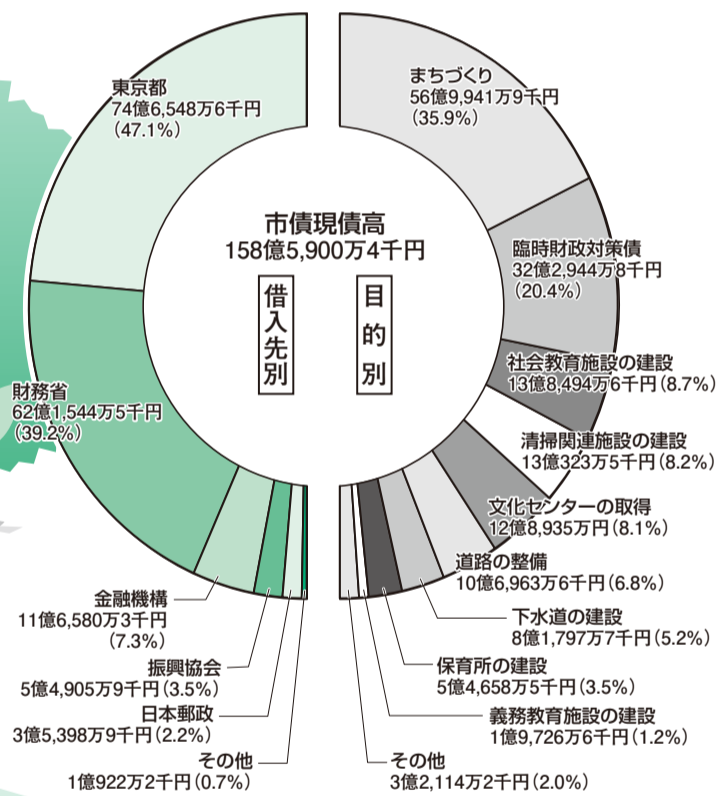


表2 公営企業会計(下水道事業)の執行状況

	収入	支出
予算現額	20億8,698万4千円	25億1,098万2千円
執行額	20億5,840万5千円	23億8,751万1千円
執行率	98.6%	95.1%
前年同期比(執行額)	0.6%減	2.2%増

表3 市有財産の状況

資産の種類	金額
土地	527億2,844万5千円 (351,151.93㎡)
建物	283億350万3千円 (167,056.77㎡)
構築物	5億4,105万9千円
有価証券その他権利	5,418万4千円
物品	18億7,732万2千円
基金	161億8,138万1千円